

平成 28 年 10 月総務企画委員会 議事概要

H28. 10. 19 作成

日 時：平成 28 年 10 月 18 日（火） 18：05～19:35

会 場：建築士会 会議室

出 席：(担当副会長) 長田 喜樹

(委員 長) 芝 京子

(委 員) 天神 正志、伊藤 誠一、加藤 清、玉野 直美、沼田 有二、村島 正章、
八重野みどり、

オブザーバー：須藤専務理事

<確 認 事 項>

- 1 前回(9/20)議事録の確認【資料 1】

<協 議 事 項>

- 1 1 月 3 0 日開催の賀詞交歓会の内容の検討について【資料 2】

・専務理事より、平成 28 年の実績と、平成 29 年賀詞交換会に係る課題を説明。

(質疑)

① 参加費のあり方

(専務理事)・資料中に収支実績を記載したが、あくまで会員の参加費収入との比較で概略を示したもので、実支出には、これら以外に事務局からの追加支出(たとえば黄寿会員表彰お祝い品)もあることを留意願いたい。

(委員)・予算での想定を下回ったとはいえ赤字となったため、引き上げても理解を得られるのではないか。

(委員)・引き上げも可。たとえば 4,000 円もあり得ると思う。

(委員)・料理のメニューの一部でも「若干の値上げ見合い」が体感できれば、なお良い。

(委員)・賀詞交歓会の主目的が会食というより歓談にあるならば、料理の質全般の up が必須とはならないのでは？ ただ、女性会員がアルコールよりも料理を楽しみしていれば話は別だが。

(委員)・今年のメニューでも特に不満や不足感はないと思う。

(専務)・予定会場との見積交渉では、平成 29 年は従来どおりの積算で何とか了解を得たが、平成 30 年以降は、他会場と同様の見積方式(現行より高めとなることが必至)となることを付言したい。また、招待者等を入れての赤字は折り込み済みで、会費だけで賄うなら現行額を大幅に上回る参加費徴収が必要になる。とにかく会員の参加者については当初計画どおりの結果であったことを報告する。

(委員長)・若干の値上げを結論としてよいか？ → 一同異議なし

② 行事内容

(委員長)・今年の「新黄寿会員表彰」「新入会員紹介」は好評だったと思うが、来年も継続するか？ 新黄寿会員の数が急減するといったことはないか？

(副会長)・今年の該当者 21 名に対し、来年は 28 名と増加する見込み。団塊の世代会員が 70 歳を超えるまで、しばらくこうした状態が続くだろう。

(専務)・表彰は長寿会員への会費減額措置を廃止したことに伴う措置であり、継続が望ましい。

・また、合格者に対する入会勧誘活動の結果もあって、入会者 10 名、そのうち 5 名の賀詞交歓会参加につながったわけだが、これを充実するためには 12 月初旬以降

の免許申請事務に来会される方への働きかけを強化する必要がある。

- ・具体的には、昨年の勧誘活動には、ほとんど私しか従事できなかったが、今年は理事や当委員会委員の積極的な参加を期待したい。

(委員長)・勧誘活動の具体的な日程は？

(専務)・昨年末から今年にかけては、12月4日から年明けの1月9日土曜日まで。最終日は休日受付とし、青年委員会が全面的に勧誘活動を行ったが、その他の平日は専務対応にとどまった。

(委員)・賛助会員さんの紹介を行う必要はないか？

(委員)・私は司会を務めたが、予定シナリオには記載がなかったものの出席賛助会員社の紹介は行った。ただ、会場がざわついていて傾聴してくれた雰囲気ではなかった。

(副会長)・来年は関ブロ青年協の大会が本県で開かれるので、その宣伝を盛り込む必要はないか。

(委員)・5分程度でも良いから、宣伝の時間をいただきたいと思う。

(委員長)・以上議論した内容で、来年の開催案としてよいか？ また、勧誘活動への参加をお願いしたい → 一同異議なし

③ 開催作業の事務分担

(専務)・賀詞交歓会の企画について総務企画委員会の主導色を強めるならば、必要な作業について委員の皆さんの分担をお願いしたいと思う。

(委員長)・役割分担案を次回11月委員会に提案してもらえるか？

(専務)・11月の委員会での調整としたい。

(委員長)・企画が概ね固まったが、新黄寿会員表彰の記念品のチョイスなど、会長の思いがこめられたものもあるので、正副会長会議等の場で紹介してほしい。

- ・また、委員会メンバーには、当日参加した賛助会員への接遇などにご配慮をお願いしたい。

2 新規事業について【資料3】

- ・副会長より、前回提案テーマ(既存住宅インスペクター養成、相談事業、太陽光発電関係)のその後の動きを報告。
- ・専務理事から、建築相談事業に関する東京士会へのヒアリング結果を報告。東京会では35年間常設窓口を設け、相談委員会が組織されて対応している由。神奈川では関係団体の既存窓口も存在することから、既存窓口の紹介や相談員人材バンクの運営などに絞る方向もあるのでは、との所感。

3 その他

(1) 11月3日活動交流会に提示する当委員会の紹介パネル等について【資料4】

- ・作成したパネル案を報告。

(2) その他

- ・特になし

<報告事項>

1 役員選任規程の改正について【資料5】

- ・副会長より正副会長・常任理事会に報告した改定案を説明(総務企画委員会での議論を踏まえ、現3条3項・4項を1項に統合し、75歳制限を削除)

2 その他

- ・特になし

<その他>

1 次回の委員会について

平成28年11月15日(火)18:00～